

# トイレを気軽に使っ てね!

## 店舗に絵文字で表示

### NPOなど 横浜でスタート、賛同店募る



店頭に掲げられたオープントイレマーク  
—横浜市中央区元町3のタカラダで

「トイレ、気軽に使っ  
てください」。店舗  
の入り口に絵文字で呼  
びかけるステッカーを  
貼ってもらい、誰もが  
トイレに困らず観光を  
楽しめるまちづくりを  
目指す取り組みが、今  
月から横浜市でスタ  
ートした。題して「OP  
EN Toilet  
Project」。プ  
ロジェクトに取り組む  
NPO法人「Check  
k（東京都世田谷区）  
と大川印刷（横浜市戸  
塚区）は「街の活性化  
につながる」と呼びか  
け、賛同店を募ってい  
る。

Checkは、体の  
不自由な人も使いやす  
い多機能トイレがどこ  
にあるかをウェブサイ  
ト上で紹介する「Ch  
eck A Toi  
let」

et」 (<http://www.w.checkatoilet.com/>)を運営。一方、大川印刷は昨年、横浜で開催されたアジア太平洋経済協力会議（APEC）で外国人にも使用食材が一目でわかるピクトグラム（絵文字）を広めたことで知られる。

黄緑色のステッカーは「オープントイレマーク」と名付けられ、登山中に「用を足す」ことを「花を摘みに行くと表現することから、花とトイレマークを組み合わせたデザイン。多機能トイレの場合、①車いす対応②ベビーチェア付き③オストメイト（人工肛門や人工ぼうこうを使う人）対応—であることが、ピクトグラムで判別できるように工夫されている。

トイレを提供できる店舗は800円でステッカーを買い、店頭に表示。購入した店はプロジェクトのサイト (<http://www.open.checkatoilet.com/>)に掲載されるほか、多機能トイレだと、ネット上の地図サービス「グーグルマップ」などにも表示され

る。  
この取り組みは財団法人「横浜観光コンベンション・ビューロ」の認定事業に選ばれ、観光スポットとして人気の元町、中華街、山下町の3地区の賛同店には1年間、ステッカーを無料配布する。現在のところ、協力しているのは3地区の9店舗・施設。大川印刷の大川哲郎社長は「来店機会につながるので、お店そのものや

商品・サービスについて知ってもらう機会になるエリアビル。「多くのお店に賛同いただくことで、街ぐるみで『おもてなしのまちづくり』が進み、活性化につながる」と期待する。問い合わせは同社内の事務局（045・441・2011）へ。  
【武本光政】

2011年11月28日（月）毎日新聞朝刊 神奈川県版